

じゅごんの里は「出会い・学び・考える」をテーマに、自然体験を通して沖縄の今を感じてもらおうプログラムを行っています。また、辺野古基地建設については、「環境・基地についての講話」と題して海を前にお話をさせていただいています。これまで講話を聞いた生徒さんからは「知らないことばかりでショックだった、もっと勉強したい」「自分に何ができるのか考えたい」「やはり基地は造られてしまうのでは」など様々な感想を頂いてきました。

～おもいをことばに～

「じゅごんの里での語り合い」 辺野古基地建設についての 少人数ディスカッション

この度、私たちは新しい試みとして、辺野古への米軍基地建設に対して、じゅごんの里に来て抱いたひとりひとりの大切な「思い」を、生徒さん同士で、また現地スタッフと共有・発展させる場を「じゅごんの里での語り合い」と題して修学旅行向けプログラムに加えることに致しました。

少人数グループでじっくり話し合うことにより、参加者の問題意識がさらに高まり、沖縄で起こっていることを「自分の事」として考える「きっかけ」を作れるのではないかと考えています。

「語り合い」では

- ・みんなが語り合いの主役となるよう、参加者一人一人が必ず発言できるプロセスになっています。(1グループ10人以下です。)
- ・「話し合いのルール」を学び、お互いを尊重する楽しい雰囲気を作ります。
- ・各テーブルでファシリテータースタッフが話し合いをリードし、基地問題についてわからないことはサポートします。
- ・話し合いを通して新たな思いや考えを生み出せるプロセスとなっています。

受け入れ可能人数：10名～50名まで
(それ以上の人数はお問い合わせください。)

所用時間：2時間半～3時間

料 金：4500円/人

お申込み・お問い合わせ：じゅごんの里
Tel/Fax：0980-55-8587

「じゅごんの里での語り合い」のプロセス※1



①大浦湾に面した瀬高の浜で30分ほど環境・基地についての講話をききます。※2



②近隣施設に移動し、少人数グループに分かれ、講話の感想をそれぞれが語ります。



③話し合いのテーマを選び、それぞれの考えを紙に書いて張り出し、発言します。



④ファシリテーターと共に意見をグループ化し、見えてきた課題に対して自分たちのできる事を考え、発言します。



⑤最後に、各グループが話し合ったことを発表します。

※1 プロセスは変更になることがあります。

※2 これまで通り、大浦湾での環境・基地についての講話のみも行っています。